



全肢連情報

ZENSHIREN BULLETIN



皆様からニュースのご提供を
心からお待ちしております

□編集・発行

一般社団法人全国肢体不自由児者父母の会連合会

〒170-0005 東京都豊島区南大塚3-43-11

福祉財団ビル5階

TEL: 03-3971-3666

FAX: 03-3971-6079

全肢連公式ホームページでも全肢連情報をご覧になれます

<https://www.zenshiren.or.jp>

全肢連

検索

メール zenshiren@zenshiren.or.jp

令和5年度第3回理事会（令和6年3月30日開催）の 議事要旨

令和6年3月30日（土）、全肢連事務局移転先の福祉財団ビル7階の会議室において、令和5年度第3回理事会が、開催されました。

令和6年4月15日発行の全肢連情報にて、概要を掲載しましたが、先般議事録に清水会長、旭監事、大石監事の署名をいただきましたので、要旨をお知らせいたします。

なお、令和5年度事業報告（案）同決算（案）及び令和6年度事業計画等の議案書は、5月25日（土）の総会一週間前に、その資料として各都道府県肢連宛にメールにてお送りいたします（総会にて承認後にホームページにも掲載します）。

日時：令和6年3月30日（土）13時30分～16時30分

場所：福祉財団ビル7階 会議室

出席者：【理事】（12名）

清水 誠一／石橋 吉章／植松 潤治／渡邊 啓宇／浅井 茂／

荻野 義昭／日比 奈緒美／松田 郁夫／小濱 規男／橋本 佳子／

吉原 芳徳／町野 忠史

【監事】（2名）

旭 喜彦／大石 辰夫

欠席者：【理事】（2名）

光延 卓真／圓井 美貴子

1. 議長選出 議長は定款第32条に基づき、清水誠一代表理事が就任した。
2. 定足数確認 議長より、本日の理事会が定款第33条に基づき定足数を満たし成立したことを報告した。
3. 議事録署名人 定款第34条に基づき、議事録署名人は議長並びに旭喜彦監事、大石辰夫監事が就き、全員の承認を得た後、議長は開会を宣し議事に入った。

冒頭、議事に先立ち清水代表理事より、令和5年11月1日より吉原理事が全国肢体不自由児者父母の会連合会の事務局長に就任した旨と、令和6年3月21日事務所移転が完了した旨が報告された。

○第1号議案 第56回全国大会（岡山）終了報告の件

吉原事務局長より第56回全国大会（岡山）が終了した旨が報告された。

石橋理事：収入の部、全肢連助成金の1,132,800円のうちの132,800円という端数が出たのはどうしてなのか確認してほしい。また、支出の部、オンライン配信に605,000円となっているが、オンライン配信での参加者はどのくらいであったのか、確認して報告してほしい。

清水会長：指摘された部分については、確認し、次回の総会で支出収入の細かい点も含めて報告をするようにする。

→端数は、当該年度に岡山県肢連が総会に出席した際に、全肢連から支給された旅費を計上、オンライン出席65名

本議案は意義なくこれを承認。

○第2号議案 令和5年度事業進捗報告の件

吉原事務局長より、令和5年度事業進捗状況として、4つの事業についての報告がされた。機関誌「いずみ」に関しては本来12月20日発行予定だったものが、2月20日の発行となり遅くなった件および、情報誌「全肢連情報」の休止していた件について説明された。また、近年の郵便料金の高騰から、全肢連情報の発送について郵送からメール配信に変更してほしいと依頼している旨も説明。

清水会長：昨今の郵便料金高騰のため、SNS等を通じて発信する必要があると考えている。兵庫県肢連の畑本会長にも提案を受けた。

荻野理事：現在休止中となっているFacebookの最終更新が2022年1月14日となっているため早急に対応が必要。

清水会長：現状どうなっているのか一旦削除するのか（閉鎖するのが良いと思われるが）、Facebookを利用するかどうかも含めて荻野理事に検討してもらいたい。

本議案は異議なくこれを承認した。

○第3号議案 令和6年度事業計画(案)の件

吉原事務局長より令和6年度事業計画(案)について、継続して4つの事業を柱に実施する。SNSの運用については、前議案でもあったように荻野理事とともに進めていきたい。さわやかレクリエーション事業について、一次受付を5月20日までの募集期間とし、その後にも良い企画が出されたときには、育英基金での展開も視野に入れていく方向である。

植松理事：育英基金委員会では、さわやかレクリエーション事業で、期間に間に合わない場合や、予算を超えている事業に対しても、会の活性化を進められるような企画があれば、福祉育英基金を活用していきたいと考えている。また、来年度日本財団の研修事業が助成不採択となったが、シーティング研修や福祉装具の研修など、県肢連単位で企画があれば育英基金で申請してもらい、委員会で検討し適応となれば、上限3万円にとらわれずに推進していこうと考えている。次回総会の際に、福祉基金での活用を説明したい。

荻野理事：さわやかレクリエーション事業の助成金額について、今年度減額が多かったが、指針はあるのか。

清水会長：コカ・コーラ担当者を含めた委員会を作り、基準について検討していく。

植松理事：全国大会の担当ブロックの順序が決まっていた方が良い。

清水会長：過去の担当を確認して順序を決める。第58回北海道大会の後には、第59回東北、第60回九州が担当となる見込み。

清水会長：令和6年度収支予算(案)の件について。

会費収入のうち、分担会費の減額見直しをしたいと考えている。

助成金の公益財団助成金収入について、日本財団の助成金は不採択となった。収入の中の、自販機収入について令和5年度は2100万円の予算のところ、令和5年度の収入が2400万円程度と、300万円多くなった。

また、令和5年度の決算確定後に補正予算を作成し、実態に合わせる必要がある。

松田理事：日本財団の助成が不採択ということで、従来から行いたいという話であったシーティング研修について、予算をつけていないということは、令和6年度は実施しないということなのか。

石橋理事：日本財団の助成金で行いたいと考えていたシーティング研修については、必要とする県肢連から申請してもらい、その内容を精査して育英基金から支出したいと考えていると説明された。申請があれば運営委員会で審査して実行するという手立てを考えている。

清水会長：県肢連より申請された事業については育英基金委員会にて審査をして、決定された場合には、シーティング研修に限らず展開していきたい。

清水会長：分担会費について、県肢連によっては自販機還元金がある程度ある場合には会費を還元金で支払える場合もあれば、会員自体が少なく会費が集まらないため役員が負担するという場合もあるようである

荻野理事：会員数割にできないのはなぜか。

清水会長：県肢連に会員数の調査を行っているが、100%回収ができていないため、会員数が把握できていない。会員数が分かれば、例えば2000円の会費だとすると、1000円は地元の支部、500円は全肢連、500円は県肢連となるとわかりやすいのだが、会員数が不明である。

植松理事：実態調査は積極的に行う必要がある。福祉財団ビルの他団体にどのように会員を把握し、どのように会費を集めているのか聞いてもらいたい。その上で、全肢連にも兼用できるものがあれば、積極的に検討するのが良いのではないか。

石橋理事：実態調査の中で、各県肢連が会費を一人あたりいくら集めているのかを調べる手もあるのではないか。行政が助成しているにもかかわらず、会員がいなくなるというのは望ましくない。

植松理事：各地域で事情が異なるので、各県の実態を知るということは重要な事だと思う。どんなことで苦しんでいるのか、例えば滋賀県であれば、県からの助成金はもらっておらず、自販機の還元金がメインであるが、公的な資金がなくとも活動しようとしているところはあるなど、他の県の実態を知るのは福祉制度のセミナーと同様に意義がある。各県がどのような財政でやっているのかは知っておいた方が良いため、実態調査は行い、意見を集約して、アイデアをもらうのが良いのではないか。また、予算と会費についてはリンクしているようでもあるが、切り離して考えた方が良いのではないか。また、滋賀県の例として、役員を出すことが難しいため脱会する場合や、助成金のために名前を残すという場合もあるが、その場合には賛助会員になってもらい会費はもらわないが、活動に多少制限があるということも行っていると報告された上で、各県がどのような状況なのか具体的に調査して欲しい。

松田理事：全肢連の分担会費は収入の大きな位置を占めるが、それ以外には、コカ・コーラの助成金が多いと思う。今回、公益財団になるにあたって、コカ・コーラだけでなく、他の収益事業、そういったもので収入をあげて、分担会費に頼らずに活動できるのが理想ではないか。

清水会長：ブロック長のあり方や、ブロック会費のあり方についても話し合う必要があると考えている。また、全国大会かブロック大会をやるときには、必ずブロック会長会議をやってもらいたいと考えている。県への実態調査の中にブロックの実態調査、ブロック長が決まる事に関しても含めて調査、アンケートだけではだめだと思うので電話を行ってやるべきと考える。いただいた意見を参考に実態調査をすすめていく。予算については、脱会した2つの分のみ減額して計上し、その他修正したものを次回までに整理する。

清水会長：第57回全国大会（奈良：令和6年9月14日～15日）事業計画・予算（案）の件について説明。

本議案は異議なくこれを承認した。

○第4号議案 その他の議案についての件

能登半島地震の件

松田理事：全肢連では、約500万円の義援金が寄せられた。一部の仮払いを受け、被災者に支援している。

吉原理事：他の県からも被害の報告が上がっているため、総会までにはどのように分配するかについても示したい。

役員改選の件

清水会長：各ブロックからの推薦をいただき、来期からは東京・大阪からは単独推薦をしてもらう形とした。

○理事（以下、敬称略）

北海道ブロック：清水 誠一（北海道肢連会長）

東北ブロック：金 登美一（秋田県肢連会長）

関東甲信越ブロック：光延 卓真（神奈川県肢連会長）

もう1名調整中

→理事会後、茨城県肢連 御代川栄子会長を推薦

東海北陸ブロック：荻野 義昭（愛知県肢連会長）

松田 郁夫（石川県肢連会長）

近畿ブロック：植松 潤治（滋賀県肢連会長）

中国四国ブロック：米田 操（広島県肢連会長）

三谷 美代子（香川県肢連会長）

九州ブロック：調整中

→理事会後、大分県肢連 濱田聖美会長を推薦

東京：河井 文（東京都肢連理事）

大阪：橋本 佳子（大阪府肢連会長）

全肢連：日比 奈緒美（岐阜県肢連会長）

：吉原 芳徳（全肢連事務局長）

外部：町野 忠史（全国心身障害児福祉財団事務局次長）

肢体不自由教育関係で調整中

→理事会後、全国肢体不自由特別支援学校PTA連合会 山崎久美事務局長を推薦

○監事

大石 辰夫（静岡県肢連会長）

二重作 誠一郎（税理士二重作会計事務所代表社員）

役員改選について、女性の副会長を1人選出していきたい。

本議案は異議なくこれを承認した。

以上、全議題を決議後、16時30分に議長は理事会の閉会を宣した。

次回、理事会

令和6年度第1回理事会

日時 令和6年5月25日（土）10:00～12:00

場所 東京芸術劇場6階 ミーティングルーム7

令和5年度監事監査（令和6年5月9日実施）

令和6年5月9日（木）、全肢連事務局において、旭善彦監事・大石辰夫監事に出席いただき、令和5年度事業終了に伴うに監事監査を実施しました。

○監査内容

- ・令和5年度事業報告書について
- ・令和5年度決算書について

資料については、5月25日の総会資料でお示しいたします。

両監事からの意見

- (1) 事業報告書は、当会の事業の施行状況を正しく示し、不備の点はないと認めます。
- (2) 財産目録は、当会の財産を正しく示し、不備の点はないと認めます。
- (3) 貸借対照表は、当会の資産と負債の状況を正しく示し、不備の点はないと認めます。
- (4) 収支決算書及び補助事業収支決算書は、当会の収入と支出の状況を正しく示し、不備の点はないと認めます。

との意見をいただきました。

車いすでも快適 モバイルトイレ 能登半島地震 今も活躍中

5月11日 FNNプライムオンライン（フジテレビ系）より
障害のある人にも楽しんでもらおうと、バリアフリーのイベントが東京都内で開催されました。防災関連の展示も行われ、災害時の車いす利用者に配慮した移動式のトイレも登場しました。

5月11日、東京・西東京市で行われたのは、車いすに乗る人から子どもまで、誰でも楽しめるようにと開かれたイベント「段なし MARCHE」。

キッチンカーや射的ができるブースもある中、水だけで炊くことができる「アルファ米」の炊き出しや車いすを使う人が参加する防災訓練など、災害関連のイベントも行われました。

その中、登場したのが、トヨタ自動車が開発したトレーラー型のバリアフリートイレ「モバイルトイレ」です。普通自動車免許でけん引することができ、家庭用コンセントのほか、電気自動車などの電動車の電力でも稼働することから、場所や時間を選ばずに使えるトイレです。トイレ用の水には、井戸水や川の水を使うことも可能で約100回使用できます。

2024年1月に発生した能登半島地震の現場で今も使用されていて、被災地では子どもと一緒に入ることができ、段差がないことから、親子連れや高齢者からも使いやすいという声が聞かれたそうです。

利用者「手すりとかも自分がここにあってほしいという位置にあったので、すごく使いやすい。トイレがないことによってせっかくやりたかったのにできないみたいな、そういう後悔も生まれてきたりするので、トイレがあるから長時間いられる」、「うちの子は全然使えるなと思ったので、ぜひいろんなところで取り入れていただきたい」

「使えるトイレがないことを理由に出かけることを諦めてしまう」そんなバリアフリートイレを必要とする人からの声が、開発のきっかけでした。

トヨタ自動車 CVカンパニー・石川拓生チーフソリューションリーダー「健常者の当た

り前を（障害者の人にとっても）当たり前にしたい。障害のある人が、何のちゅうちょ・ためらいもなく、外出できるっていうのを目指している」

トヨタ自動車は災害時に限らず、トイレが不足するイベントなどでの活用も期待されるとして、現在 10 の自治体などで、導入が検討されているそうです。



新型コロナウイルス感染症情報

心身障害児総合医療療育センター 小崎 慶介 所長より

令和 5 年 5 月から新型コロナウイルス感染症（COVID-19）の感染症法上の取り扱いが、5 類感染症になっています。これは、COVID-19 への診療体制（治療法の確立や治療可能な医療機関の充実など）が整ったことを踏まえたもので、ウイルスの感染力などの性質が弱まったわけではないことに留意してください。

これを踏まえて、多くの施設では、職員の基本的感染対策の継続に加えて、利用者の皆さんに対策へのご協力をお願いしています。1 例として当センターの場合を示しますが、人員体制等の事情により異なりますので、それぞれご利用の施設へのご確認をお願いします。

- ・建物内でのマスク着用
- ・建物入り口での検温と手指消毒
- ・有症状（発熱、咳や鼻水などの感冒症状、のどの痛み、息苦しさ、倦怠感（だるさ）、吐き気や嘔吐、下痢、発疹、など）・同居家族の感染罹患時の来所・施設利用の差し控え
- ・面会（場所や時間の制限、入所利用者との会食制限など）

★国立感染症研究所感染症疫学センターからの最新情報

(<https://www.niid.go.jp/niid/ja/2019-ncov/2484-idsc/12015-covid19-surveillance-report.html>)

COVID-19 サーベイランス週報: 発生動向の状況把握

2024 年第 17 週（4 月 22 日～4 月 28 日）のまとめ:

2024 年第 17 週（4 月 22 日～4 月 28 日）における定点当たり報告数は 3.22（報告数 15,786 人）であった。前週（4 月 15 日～4 月 21 日）に比較して減少しました。都道府県別にみると定点当たり報告数は 1.48～8.34 であり、最も高いのは沖縄県でした。全都道府県で報告数は 10 を下回っています。

基幹定点から報告された全国の新規入院患者数は 1,301 人で、前週と比較して 186 人減少しました。

地域ブロック別にみると、前週と比べて高い順に近畿地方、沖縄県で増加しました。

図 1: 全国の定点医療機関から報告された COVID-19 の定点当たり報告数

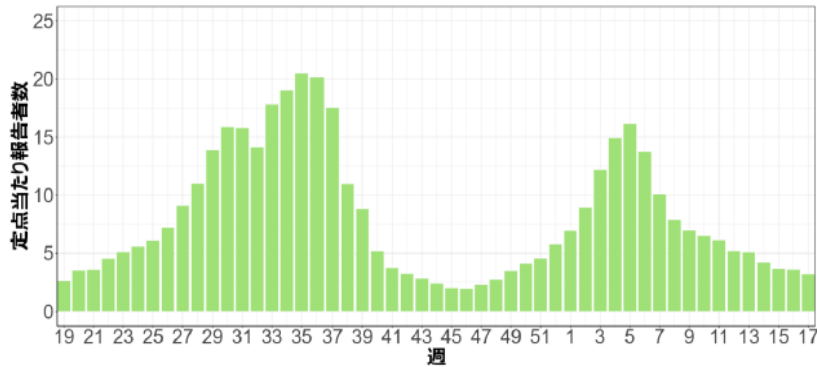
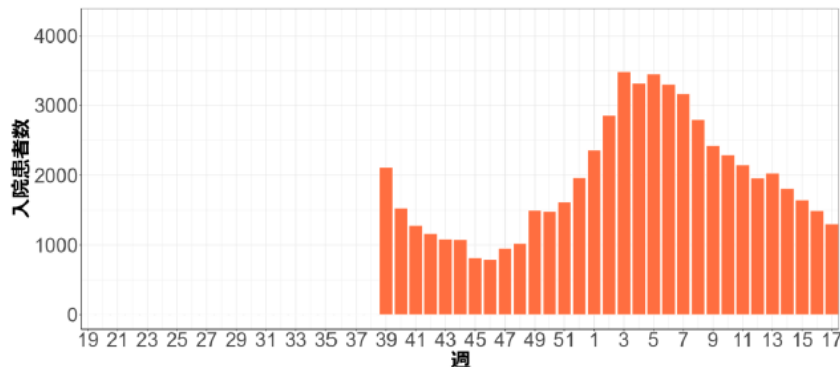


図 2: 全国の基幹定点医療機関から報告された COVID-19 新規入院患者数



(注: 都道府県から上がる定点観測情報を集約するため、2週間ほど遅れた情報となります) 都道府県毎に定点観測値が発表されています。

例: 東京都のアドレス

(https://www.hokeniryo.metro.tokyo.lg.jp/kansen/corona_portal/info/monitoring.html)

なお、民間検査機関のデータを用いた亜系統の検出数と割合および将来の亜系統検出割合の推定(ゲノムサーベイランス)については、2024年第14週のレポートを以て終了しました。

最終レポートでは、BA.2.86.1 系統が 40.9%、JN.1 系統が 24.4%といずれもオミクロン系統が主体でした。

★診療体制の変化

- 令和6年3月31日限りで、COVID-19 治療薬の公費負担が打ち切れ、通常の保険診療として患者の一部負担が発生することになりました。他の医療費補助を併用しない場合、薬剤、年齢、収入によっても異なるが最大約5万5千円の自己負担額となります。詳細は受診時に医療機関に確認してください。
- 令和6年3月31日限りで、ワクチンの特例臨時接種は終了となりました。今後は、季節性インフルエンザ等と同様な取り扱いとなり、秋冬に年1回定期接種が実施される見込みです。実施の詳細については今後発表される見込みです。

感染を恐れるあまり、無闇に自宅・施設内に引き籠もることはお勧めできません。周囲の感染症発生状況を確認し、適切な感染対策を取りながら、適切な場所への外出や通所など日常生活を楽しんでください。

令和6年5月12日現在

大阪府肢体不自由児者父母の会連合会結成 60 周年式典

令和6年4月24日（水）に、大阪市のホテルアウィーナ大阪にて、多くの来賓や会員の皆様の出席を仰ぎ、標記式典が執り行われました

式典は、大阪府肢体不自由児者父母の会連合会橋本佳子会長の挨拶で始まりました。橋本会長は、関係者のご尽力をいただいたこと、そして会員の皆様の努力があって今日を迎えられたことに感謝の意を述べられました。引き続き、大阪府議会議員で大阪府肢体不自由児者父母の会連合会顧問の前田洋輔様、同じく杉本太平様から祝辞があり、最後に全肢連清水誠一会長がお祝い言葉を送りました。清水会長は、全肢連は大肢連とともに一緒に力を合わせながら、どこの地域で住んでいても、どこの地域でこれから住もうと思っても、安心できる地域作りにさらに頑張りたいと、決意を述べられました。

その後、会食と相愛大学「相愛サクソフォンカルテット」によるサクソス4重奏を楽しみ、抽選会で盛り上がり、開会しました。



大肢連 橋本会長



全肢連 清水会長

事務局より

○全国特別支援教育推進連盟第1回理事会

令和6年5月24日（金） 14:00～ 福祉財団ビル7階 大会議室

○令和6年度全肢連第1回理事会

令和6年5月25日（土） 10:00～12:00 東京芸術劇場

○令和6年度全肢連通常総会（兼各都道府県会長・同事務局長連絡会議）

令和6年5月25日（土） 13:30～16:00 東京芸術劇場

○東海北陸ブロック三重大会

令和6年6月8日（土） グランドメルキュール伊勢志摩リゾート&スパ

○令和6年度第1回障文芸ネット会議（総会）

令和6年6月24日（月） オンライン

○全国特別支援学校肢体不自由教育校長会総会

令和6年6月28日（金） 青少年オリンピックセンター

○関東甲信越ブロック茨城大会

令和6年6月29日（土） ホテルレイクビュー水戸